



日本共産党前都議会議員

そねはじめレポート

3月14日(木) No.65

発行：そねはじめ事務所

〒114-0032 北区中十条2-11-6

Tel: 3907-1135 Fax: 3906-3225

そねはじめホームページは <http://www.kitanet.ne.jp/~sone/>

3.10「さよなら原発in 飛鳥山」に500人が参加

東北大震災と福島原発から2年を迎える3月10日、国会前をはじめ全国で原発ゼロをめざす行動に4万人が参加しました。

北区でも、夏を思わせる陽気から一転、土ほこりの舞う強風と雨まじりの荒天のなか、現安倍政権の原発推進・再稼働への怒りを結集する飛鳥山公園の集会が開かれ、区内各地域職場から500人が参加しました。

福島からの避難者、東海原発訴訟団、子どもを放射線から守る運動、青年、原子力規制委員会の新「安全」基準反対運動などの発言のあと、犠牲者への黙とうをささげました。



(王子駅からパレードするそねはじめ前都議)

4万人の官邸前中央行動に連帯！

都議会予算委員会で日本共産党の代表質疑<3月12日>

誰もが必要な介護サービス受けられる都政をめざせ



(質疑する吉田都議)

●都の計画は必要数の4分の1

3月12日、都議会は予算特別委員会がスタートし、日本共産党から吉田都議が代表質疑に立ちました。都内の特養ホーム待機者4万人余りに対し都の整備計画は当面5千人程度。「少なくとも2万人の計画を」との追及に、都は「待機者のうち要介護度が低い人や入院中の人はすぐ入所が必要とはいえない」。「毎年入所者の2割が死亡し空きが出る」などと増設には冷たい態度でした。

●月7万円の介護負担は重すぎる

吉田都議は、知事が強調する在宅介護でも保険外も含め月7万円かかり、4割近くが年収200万円未満の高齢者に負担が重すぎると指摘。石原前都政時代に全国トップ水準から7割に激減した老人福祉費を引き上げ、不足がちなシヨートステイや介護者の負担軽減などに取り組みむべきと質しました。しかし猪瀬知事は「全国平均の予算は確保した」などと現状(全国29位)に甘んじる姿勢でした。やはり日本共産党が前進しなければと痛感しました。



(答弁する猪瀬知事)

財政ピンチどころか財調基金は過去最高に

副区長 自公の後押しで 区役所移転をぶち上げ

3月7日からの北区議会予算委員会で、日本共産党区議団から本田正則議員が総括質疑に立ちました。

1年前に区が「財政調整基金が底をつく」と発表しマスコミ報道された結果、区民に北区は貯金がゼロかのよ

うな誤解を広げました。自民・公明からは区

た。本田区議は、北区役所移転・建替え推進の発言があり、副区長は「個人の考え」としながら王子駅東側への移転改築構想をぶち上げました。翌日、党区議団の八百川議員が「無責任な発言の撤回を」と迫りました。

日本共産党演説会

4月29日(月・休日)
午後2時より 赤羽会館講堂



党副委員長・政策委員長

小池あきら



党東京都雇用と就活対策室長

吉良よし子



前都議会議員

そねはじめ



12区青年部長

池内さおり



そねはじめ切り絵の世界「NO. 12」

人形劇人のたましいにふれた瞬間

昨年6月早朝、NHKニュースに札幌のアマチュア人形劇の第一人者Tさん夫妻が、岩手の宮古で人形劇公演をするため練習中という映像が流れてびっくり。一週間後、私は休みをとって新幹線とバスを乗り継ぎ被災地宮古を訪ね、仮設の市役所や社会福祉協議会を回って、現地藤原小学校での午後の公演にたどり着きました。

そこでは大学時代「社会人でもこれだけ人形劇に打ち込んでいるんだから自分も必ず続けよう」と私に決意させた「トン吉とからす」と腹話術を当時のままのスタイルで演じていました。札幌の市民サークルと連携して宮古に人形劇を根づかせているのは母校北大童話研究会出身の後輩でした。